

# 今こそ、くらし・地域経済、平和…で 共同と連帯を 日本共産党

就職氷河期、高齢者医療や介護、年金、まったなしの経済の活性化…。国民の力が、新しい政権をつくったのに、暮らしや福祉、平和の問題でも国民の思いはそちのけ。政治が変わらないのはなぜでしょう。「アメリカや大企業のいうことが何より大事」だなんて…。まるで自民党時代に戻ったみたい。民主党政権、これでは国民の願いに反します。来年は、一斉地方選挙の年。切実な要求の実現への流れをつくり、あわせて国へも「ノー」を突きつける年としようではありませんか。

## くらしも・平和もおびやかす菅政権

### 来年度予算編成 庶民に増税/大企業に減税

政府は、歳出の大枠を71兆円とする来年度予算編成の基本方針と税制「改正」大綱を閣議決定。税制「改正」では法人税の引き下げを盛り込み、その額は、5～2兆円（見込み）です。穴埋めには消費税増税を考えています。法人税減税を「何に使うか」との帝国バンクの調査では「内部留保の積み増し」がトップ。大企業のためこみ244兆円の数%で、非正規雇用を正社員にすることができるのに…

### 新防衛大綱 危うい周辺国敵視

民主党政権初となる「防衛計画大綱」。これまで、日本防衛を建前としてきた「基盤的防衛力構想」を改め、「動的防衛力」の構築へと方針を大転換。中国を「懸念」し、軍事的に対抗する姿勢を打ち出しました。平和外交を求める世界の流れの中、軍拡と海外派兵を推し進める防衛計画に、日本共産党は、憲法の平和原則を踏み外すものと厳しく反対し、撤回を求めます。

### ■ 弁護士無料法律相談

2月17日(木) ご相談は、ご連絡ください  
(電話 0297-72-7816)

日本共産党発行  
**しんぶん 赤旗**  
日刊●月2,900円  
日曜版●月 800円

## 明るい取手

2010年12月26日(日)  
発行:日本共産党取手市委員会  
取手市井野3-19-6 TEL72-7816  
<http://toridejcpweb.net>

取手市委員会 検索

日本共産党の见解を紹介します。

- 生活のお困りごとなどお気軽にご相談ください。
- 高木あきら 市委員長 TEL 74-2004
- 林 みやこ 市議 TEL 78-8481
- 遠山ちえ子 市議 TEL 83-8290
- 加増みつ子 市議 TEL 74-8154
- 野口りえ子 市議 TEL 78-2828

## 2010年 大変お世話になりました ありがとうございました

国民の期待を裏切り続ける民主党政権に国民の怒りが広がった一年でした。自民はだめ、民主もだめだったと2大政党への批判、国民の「政治を変えたい」との思いは、それに代わる政党の選択を模索した年でもありました。

### 県議選でのご支援に心から感謝申し上げます

前市議会議員 高木あきら

「全国8番目の財政力を、暮らしに生かせ」の訴えに、「県民の暮らし守り地域に活力を」「無駄なくし、県民の声がとおる県議会に」と、政治的立場の違いを超えた多くの皆さんの共感と支持の広がりを感じた選挙でした。残念ながら議席に届かず、ご支援頂きました皆さんにお詫びとお礼を申し上げます。



ごいっしょに政治を変えるため引き続き頑張ります。  
今後ともご支援よろしく願いいたします。

### 新しい年「暮らし守る市政」を展望して

2011年春には全国一斉統一地方選挙、取手市では、市長選挙と市議補欠選挙が戦われます。財政困難を理由に、学校・保育所の統合、公共施設の有料化等を進める取手市政を「住民福祉の増進」を目的とする自治体にふさわしい市政への転換に皆さんと力合わせ全力を尽くします。



取手市議会議員  
林 みやこ



取手市議会議員  
遠山智恵子



取手市議会議員  
加増 充子



取手市議会議員  
野口利枝子

# 12月取手市議会報告

民主党小沢問題など国民不在の議論に、あきれ・怒りの声が渦巻く中、茨城県議選と平行して取手市議会が開かれました。(11月29日から12月14日)日本共産党は、水道問題や住宅リフォーム助成制度等、市民の切実な要求を取り上げ、暮らし・地域経済を守れと全力を尽くしました。

欠員が生じた常総広域圏一部事務組合議員には林みやこ市議が選出されました。

## 政治倫理条例改正案可決

「取手市政治倫理条例」は、市長等市3役と、市議会議員に対し、公共工事、業務委託、物品納入及び使用資機材の購入等について「地位を利用して利益を図ることのないよう」と定めています。改正により、あいまいにされていた取手市の

関係する一部事務組合(水道・下水道等)を含むことを明確化したものです。

改正案は、9月定例議会に高木あきら議員(当時)等が提出し、継続審査になっていたもの。下水道議会では、加増みつ子市議が取り上げてきました。

## グリ・スポ 雇用不安・サービス低下の心配

5年前から民間企業に管理を代行させている「グリーンスポーツセンター」の指定替えの時期を迎え、サービス低下を心配する利用者1,550名から「管理運営の現状維持を求める請願」が提出されました。審査の中で、請願書に業者名が入っていることに、「政治倫理に反する」との質疑があり、紹介議員の林市議は「住民の要求に添うもので、指定管理者制度こそ問

題」と答弁。採決の結果は、日本共産党以外の反対で不採択となりました。(公明党は退席)

公共サービスは、安ければ安いほど良いとして、公共施設の管理を民間企業に丸投げする[指定管理者制度]について、日本共産党は、導入以来「サービスの低下、雇用の不安定化をもたらす」ものと指摘し、制度導入に反対してきました。

### 《可決された意見書一覧》

- ・地方経済の活性化策を求める意見書
- ・脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書
- ・ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書
- ・北朝鮮の韓国・延坪島砲撃を抗議し、毅然とした対処を求める意見書
- ・第3次ゴミ処理施設建設の財政計画等の明示と更なる改良を求める意見書
- ・介護保険への公的負担を大幅に増やし、安心できる介護制度の実現を求める意見書
- ・環太平洋連携協定(TPP)の加入に反対する意見書
- ・米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書

保守・公明・民主

“農業つぶし”につながるTPP参加に反対  
一方で農用地減少につながる開発に賛成・・・

JAみなみ農協・農民組合からTPP自由化で日本の農業が壊滅するとして、遠山ちえ子市議も紹介議員となった「TPP参加に反対する請願」が日本共産党等賛成多数で採択され、国に意見書を送付されました。

一方で、10年後には国道6号沿線の開発で競輪場の約6倍の農用地が減少する「国土利用計画」が賛成多数(日本共産党反対)で可決されました。

農用地は地球温暖化防止や防災面で「自然環境保全」につながり重要です。地産地消の取り組み、食料自給率の向上こそ目指すべきです。

## 党議員の一般質問から

### リフォーム助成 待たれているのに

野口りえ子市議はリフォーム助成制度の一刻も早い創設を求めました。9月議会では、「求める請願」は可決されています。求めに対し、市長は「市民の(業者)選択肢を狭めてはいけない」など制度の趣旨への無理解とも思える答弁で、創設への後ろ向きの姿勢を示しました。野口市議は重ねて早期創設を求めました。

### 市も市民も求める「水道料金の値下げ」

高すぎる水道料金。県南の首長がそろって県に料金の引き下げを求めるなど、今や大きな世論です。引き下げを求めた県への署名が9月の県議会で否決されたことを、取手、牛久、龍ヶ崎からなる県南水道企業団議会で問題としました。

県南水道企業団当局は「料金の見直し(引き下げを)を引き続き求めていく」と明確に答弁。

このため、市議会で林市議が市の態度を改めて質したところ「引き下げを求める姿勢は変わらない」との回答を得ました。

### 《不採択となった請願・陳情》

- ・最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める請願
- ・後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書の提出を求める請願
- ・グリーンスポーツセンターの管理運営の現状維持を求める請願
- ・「県立高校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書提出」に関する陳情

## 市議会「議会改革」 トンザ?

議会改革は他からの視察も多く注目されてきました。その一つとして議会報告会を、議員全員参加で、今年1月から定例会毎に4回、市内4か所で同時開催してきました。ところが、今議会中の全員協議会で中止することを決めてしまいました。理由は、保守系議員から「参加者が少ない」「いつも同じ人ばかり」等というもの。お粗末すぎる結論です。日本共産党は他会派の有志議員と引き続きこの報告会を行っていきます。